

◇憲法記念日の集い・講演会◇



日本国憲法と教育

～安倍政権が目指す改憲と教育の政治支配～

まえ かわ き へい
講師 **前川喜平さん**
(元文部科学事務次官)

1955年、奈良県生まれ。東京大学法学部卒業後、79年、文部省（現・文部科学省）入省。2016年、文部科学事務次官に就任し、17年退官。加計学園をめぐる問題について「獣医学部の新設は不公正・不公平・不透明に進められ、行政が歪められた」と記者会見で発言。加計問題では、国会の参考人として出席した。現在は、自主夜間中学のスタッフとして学習支援ボランティア活動を行っている。また全国各地で講演を行っている。

・著書：『面従腹背』

・共著：『これからの日本、これからの教育』『前川喜平「官」を語る』

『前川喜平が語る、考える』『前川喜平 教育のなかのマイノリティを語る』



写真：『全国革新懇ニュース』提供

日時： **2019年 5月3日（金・祝日）**

午後2時～4時50分（開場1時30分）

会場： **駒ヶ根市文化会館 大ホール**

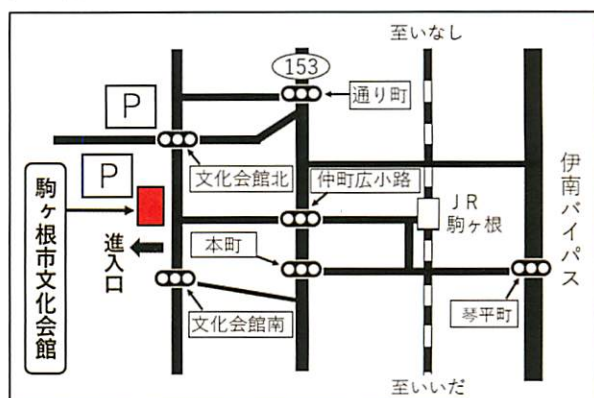
長野県駒ヶ根市上穂栄町23-1 TEL: 0265-83-1130

★参加協力券500円（高校生以下無料）

※当日会場にて購入可

☆ 託児（無料）、手話通訳を希望される方は、下記連絡先まで事前にご連絡下さい。

☆ 駐車場が限られておりますので、できるだけ乗り合わせてお越し頂きますよう、ご協力をお願いいたします。
（当日は駐車係がご案内いたします。）



<主催> 「憲法記念日の集い」 実行委員会

代表：小原 勇（元県議 戦争をさせない1000人委員会・上伊那） 北原 明（元長野県高校長会会長）

下平秀弘（戦争をさせない1000人委員会・飯田下伊那）

建石繁明（元信大教授 長野県戦争展代表）

角田泰隆（常円寺住職・駒澤大学教授）

野口俊邦（信大名誉教授 上伊那原水協会会長）

林 知先（憲法九条を守り広める飯伊の会）

<後援> 信濃毎日新聞社 中日新聞社 長野日報社

<連絡先> 永原・金田 TEL: 0265-79-1749 79-8702（上伊那医療生活協同組合内）

5月3日憲法記念日…

国民主権、基本的人権の尊重、平和主義の理念を掲げ、私たち国民を戦争から守ってきた平和憲法について、一緒に学び、考えてみませんか。



【実行委員会より】

310万人の国民、2千万人というアジアの人々を犠牲にした太平洋戦争への深刻な反省に立って、いわば世界の人々への歴史的公約として制定された日本国憲法は、その前文で、「政府の行為によって再び戦争の惨禍が起こることのないやうにすることを決意し、ここに主権が国民に存することを宣言」しています。

日本国憲法は「国民が平和のうちに生きる権利」を中心とした「基本的人権の尊重」と「平和主義」、そしてこれを実現するための不可欠な仕組みとしての「国民主権主義」を原理としているのです。同時に、この憲法を実現することを目的とする教育基本法が施行されました。教育基本法は、国民をないがしろにした国家優先の「教育勅語」による戦前の教育への痛切な反省に基づくものでした。

憲法の大切な原理を否定する安倍政権は、この教育基本法をすでに「改正」し、教育勅語を生き返らせようとしています。安倍政権の文教政策の要職にあって、憲法と教育基本法の理念を誠実に守ろうと努めてきた前川喜平さんのご体験と訴えを一人でも多くの皆さんに聞いてほしいと思います。



◇タイムテーブル◇

- 13:30 開場
- 14:00 オープニング
(文化ステージ)
- 14:10 開会あいさつ・講師紹介
- 14:15 講演(100分)
- 15:55 ~ 休憩 ~
- 16:10 質疑応答
- 16:40 集いアピール
- 16:45 閉会あいさつ(終了)
- 17:00 講師によるサイン会
~17:30 書籍販売
(ホワイエにて予定)



講演会に寄せて

「…38年間
文部省・
文部科学
省で教育
行政に携
わりました
が、常に
念頭にあった
のは日本国憲法
でした。」

憲法記念日に憲法と教育の話をして
いただくのは、感慨深いものがあります。」
(前川さんより講師受諾の際に)



◇前川喜平さんと芦部憲法◇

(佐高信:さたかまこと『週刊金曜日』2017/11/3号より抜粋)

「…たまたまというの、ある意味で恐いものである。前川が姿を現しただけで、加計学園の問題で首相の安倍晋三とそれに盲従する官僚たちのウソが明らかになった。その前川が東京大学法学部の学生時代、最も熱心に聴講したのが芦部信喜(あしべ・のぶよし)の憲法だった。安倍がその名を知らないと告白して話題になった憲法学の泰斗である。前川が口走って問題となった「面従腹背」もそう簡単にできるわけではない。拘束衣を着せられたような官僚生活を卒業して、いま、前川はこんな決意を固めている。『週刊朝日』の11月3日号での意志表明だが、「安倍政権下での改憲には反対」という前川は、「それでも安倍首相が改憲を実行するというのなら、私も国会正門前に行ってデモに参加しますよ」と語っているのである。…」



<参加呼びかけ人>

青木謙一(弁護士) 天田良子(上伊那退教会長) 市川達人(大学講師・箕輪9条の会代表)
伊壺一輝(飯伊地区労連議長) 伊藤一夫(元上伊那郷土研究会会長) 伊藤尚志(下伊那労組会議議長)
牛山雅夫(社会医療法人健和会理事長) 大杉 至(牧師・いな平和憲法の会) 大場美広(伊那市9条の会連絡会事務局長)
金田恭子(上伊那民医連労働組合) 唐木達雄(元県歴史教育者協議会会長) 北原 斉(伊那北高校同窓会有志)
北村皆雄(映画監督) 河野則夫(高教組上伊那支部長・上伊那地区労連議長) 小原 宏(弁護士)
小林伸陽(上伊那医療生活協同組合理事長) 小林史磨(グリーンファーム) 清水信明(上伊那生協病院院長)
清水久志(高退教上伊那支部長・9条の会こまがね代表) 角 憲和(平和って何だ・伊那谷代表)
曾我逸郎(前中川村長) 内藤英昭(長桂寺住職) 中島 武(長野県高退教会長・高退教下伊那支部長)
中嶋美代子(新婦人飯田支部長) 原 富男(チェルノブイリ救援・中部伊那) 平沢勝也(上伊那労組会議議長)
古田久美子(上伊那母親連絡会代表) 宮下与兵衛(首都大学東京特任教授)
宮島良夫(戦争をさせない1000人委員会・上伊那) 山本真吾(さよなら原発上伊那の会代表)
若林敏明(いな平和憲法の会) 渡部一也(前県地域住民大学代表)

(前記「代表」者略・50音順・敬称略)